

富山市教育委員会会議録
令和5年8月定例会

- 1 日 時 令和5年8月24日(木曜日)
午後 1時30分 開会
午後 2時35分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 高 田 健
委 員 石 動 瑞 代
- 4 説明のために出席した者
事務局長 砂 田 友 和
事務局次長（総務・社会教育担当） 古 西 達 也
事務局次長（学校教育担当）・教育センター所長 竹 脇 孝 志
教育総務課長 青 山 哲 也
学校再編推進課長 山 口 雅 之
学校施設課長 高 瀬 雅 基
学校教育課長 福 満 弘 信
学校保健課長 由 水 正 恵
生涯学習課長 加 藤 孝 一
教育センター所長代理 荒 瀬 誠
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 仙 石 正 明
教育総務課長代理（管理係長） 塚 本 紘 己
教育総務課主査 渡 邊 藍 子
- 6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第 4 5 号 令和 5 年 9 月市議会定例会に付議する令和 5 年度補正予算案に対する教育委員会の意見について
- 議案第 4 6 号 富山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に関する教育委員会の意見について
- 議案第 4 7 号 令和 4 年度教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書について

(2) 報告事項

- 報告事項 2 0 富山市教育委員会人事について
- 報告事項 2 1 専決処分について（令和 5 年度富山市一般会計補正予算（第 3 号））
- 報告事項 2 2 専決処分について（令和 5 年度富山市一般会計補正予算（第 4 号））
- 報告事項 2 3 令和 4 年度富山市一般会計継続費精算報告書について
- 報告事項 2 4 「富山市立義務教育学校 水橋学園」の校章について
- 報告事項 2 5 「令和 5 年度全国学力・学習状況調査」の結果について

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

- [教育長] 7 月教育委員会定例会、教育委員会臨時会会議録について意見等を求める。
- [各委員] (意見なし)
- [教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

- [教育長] 議案第 4 5 号、4 6 号、報告事項 2 1～2 3 は、9 月市議会定例会に付議される案件であるが、市議会への議案説明がまだ行われて

いない。また、報告事項20は、人事に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。

[各委員]

異議なし。

[教育長]

承認を得られたので、議案第45号、46号、報告事項20～23については非公開とし、報告事項25の後に行うこととする。

【議案第47号】

[教育長]

議案第47号について事務局から説明を求める。

[教育総務課長]

(議案第47号について説明)

[教育長]

ただ今の件について、質問等あるか。

[若林委員]

学識経験者の意見を反映したことは、大変良かったと思う。それ以外に前回の教育委員会定例会での説明から変更したところはあるか。

[教育総務課長]

修正点は、先ほど説明したとおりである。

[藤井委員]

イエナプラン教育について、もう少し記載してもよいのではないかと思う。

[教育総務課長]

14ページの【今後の方向性】において、イエナプラン教育の取組みに関する方向性をもう少し詳しく記載すればよいということか。具体的な取組みに関しては、この報告書の基になっている教育振興基本計画において定めており、現在、次期計画を策定中である。前回の教育委員会定例会において、教育委員の方々から頂いた意見のうち、次期教育振興基本計画に反映していく方向で検討しているものもある。藤井委員の意見が、「イエナプラン教育について、取組みをもう少し充実した方がよい」ということであれば、その点を踏まえて教育振興基本計画の策定も進めていくという考えではどうか。

[藤井委員]

内容をより具体的に記載するというよりも、記載量がもう少し多い方がよいのではないかという意味合いで発言した。今の説明を聞いて、教育振興基本計画など他に記載しているので、このままでよいということが分かった。

[教育長]

その他、質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

[教育長]

採決を行う。議案第47号について、異議があるか。

[各委員]

異議なし。

[教育長]

異議なしと認める。よって議案第47号については原案どおり可決した。

【報告事項 2 4】

- [教育長] 報告事項 2 4 について事務局から説明を求める。
- [学校再編推進課長] (報告事項 2 4 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [藤井委員] このデザインは、一度決定すると、色を変えることなどはできず、全てこのままになるという理解でよいか。
- [学校再編推進課長] 色を変更するのであれば、デザイン作成者との相談が必要だが、モノクロのパターンは了解を得ているため使用できる。
- [藤井委員] モノクロ以外の色の変更については、作成者の権限なので、許可を得ず変更してはいけないということか。
- [学校再編推進課長] 基本的に著作権は富山市のものだが、色を変更する時などは、相談しながら行うことになっている。
- [藤井委員] ロゴマークの印刷でよく問題になるのだが、印刷する時には全てこの色の濃淡を付けなければいけないのか。封筒などに印刷したときに、真っ黒になると困るのではないか。
- [学校再編推進課長] 全てカラーコードが決まっているので、カラーで使用する場合には濃淡を表す形になる。選定時に、カラーとモノトーンそれぞれのデザインを見てもらっており、モノトーンでも使いやすいつと考えている。
- [教育長] その他、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。

【報告事項 2 5】

- [教育長] 報告事項 2 5 について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (報告事項 2 5 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [藤井委員] 無解答とはどのようなものなのか。また、無解答からどのような分析をしたらよいか。
- [学校教育課長] 解答欄が空白だったものを無解答としている。英語で自分の考えを書くような、文章で自分の考えを書くことについての問題において、無解答が多い。問題が難しく分からないので、解答を最初から諦めてしまうことも考えられるのではないかと考えている。
- [藤井委員] 他県の子どもは、結果はどうなるか分からないが、何か記入しておこうということがあるかもしれない。富山県の子どもは、正確にできないのであれば解答を書かないでおこうという奥ゆかしさが出

ているのか。

[学校教育課長]

奥ゆかしさが関わっているかどうかまでは、分析ができていない。教職員においては、「「非認知能力」の育成」に記載しているとおり、間違えてもいいから最後まで自分の考えを書いてみようという指導を進めている。間違えたとしても、その後になぜ間違えたのかをフィードバックしていく学習や、粘り強く取り組むこと、間違えや失敗をしてもいいから挑戦することを大事にしていくことが大切なのではないかということ、無解答の多さから考えていけばよいのではないかと解釈している。

[石動委員]

普段から学生を見ていて、解答用紙に何も書かない人には、さまざまなタイプがある。先ほどの英語のように、言いたいことはあるが英単語の知識がなく書けないタイプ、集中力が最後まで続かず諦めてしまうタイプや、少しでも点数を取りたいと最後まで頑張ることに評価を置かず自分で到達ラインを下げてしまうタイプなどがある。小中学生なので、タイプ別にさまざまなアドバイスができれば伸びていくのではないかと。全員が同じ粘り強さを持って頑張ることができるわけではなく、目的がその子どもにとって価値があるかどうか非常に大事になる。言いたいことはあるが知識がないタイプへのアプローチ、また達成目標が低いタイプへのアプローチというように、無解答の子どもたちがどのようなタイプなのかを現場の感覚で捉えながら、話し合いができればよいのではないかと思う。

[学校教育課長]

石動委員の意見のとおり、無解答の理由が子どもたちなりにあると思う。なぜ無解答だったのか、子どもの言葉にしっかりと丁寧に耳を傾け、今後の授業改善につなげていきたい。

[若林委員]

同じ意見になるが、なぜ無解答だったのかをきちんと分析した方がよいと思う。そこに今後の改善につながるヒントがあると思うので、時間をかけて調査した方がよいのではないかと。

[教育長]

資料の最初に、平均正答率の全国や県との比較表を記載しているが、調査自体の主旨が何かを考えたときに、点数を取ることができたかどうかの結果ではなく、教育委員の方々から頂いた意見がまさに調査の主旨だと思う。正答の中には、当てずっぽうで記号を記入したら偶然合ったというものがあるかもしれないが、それを「解答が合っていたからよかった」で済ませてしまうことの方が怖い。子どもたち一人一人が、自分の出来なかったところや不十分なところを自覚し、教職員がその点にしっかりとサポートに入ることが調査の主旨であり、この調査結果を今後の指導に活かしていくように使わなければ調査をしている意味がないと思う。これまで

も学校へは繰り返し伝えてきたが、改めて指導徹底していくように努めたいと思う。

[高田委員] 児童生徒質問調査の結果のうち、13ページにある家庭学習の「質問10」について、中学生の結果が昨年度と比較して大きく減少している。何か原因はあるのか。

[学校教育課長] 現在のところ、はっきりとした原因は分かっていない。大きく減少している点についても、丁寧に調査・研究をしていく必要があると考えている。

[高田委員] 微増微減ではなく、極端に良くなっていることや悪くなっていることについて、その理由や原因を突き止めてもらいたい。また、学校質問調査の結果が記載されているが、15ページにある小学校教育と中学校教育の連携について、小学校と中学校とで温度差があるように見える。小学校と中学校で意思統一ができているのか、少し疑問に思った。割合が同じくらいであれば理解できるが、「質問10」では20ポイント、「質問11」では5ポイントほどの差がある。一方はあまりできていないと思っているが、一方は結構やっていると思っている状態は良くないので、小中学校の連携はしっかりとしてもらいたいと思う。

[学校教育課長] 現在、富山市では、中学校1校とその校区にある小学校との間で連携を図っており、お互いの状況を丁寧に話していくよう進めている。このような結果が出ていることから、連携をしたことによる成果がどの程度あるのかという意識の差に表れているかもしれない。小・中学校連携については、今後も継続して進めていきたいと思っている。

[高田委員] よろしくお願ひしたい。

[教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

【議案第45号】※非公開案件（8月24日時点、議案説明会開催前）

[教育長] 議案第45号について事務局から説明を求める。

- [教育総務課長外] (議案第45号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [石動委員] 学校のDX推進に向けた外部人材の活用について、具体的に教えてほしい。
- [教育センター所長代理] 議案第46号でも説明するが、特別職として非常勤職員で採用することを考えている。専門的な知識を必要とするため公募によるものとし、早くても1月からの採用を予定している。回数としては週に2回程度であり、1月から3月の3か月で約26回来てもらうこと、また、再任を妨げない形での公募を予定しているので、年度を跨ぎ継続することも考えている。
- [教育長] その他、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 採決を行う。議案第45号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第45号については意見なしとする。

【議案第46号】※非公開案件（8月24日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 議案第46号について事務局から説明を求める。
- [教育センター所長代理] (議案第46号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [各委員] 採決を行う。議案第46号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第46号については意見なしとする。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【報告事項20】※非公開案件

- [教育長] (報告事項20について事務局から説明を求める。)
- [教育総務課長] (報告事項20について説明する。)

【報告事項 2 1】※非公開案件（8月24日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 報告事項 2 1 について事務局から説明を求める。
[教育総務課長外] （報告事項 2 1 について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[若林委員] 1 5 ページにある、災害救助法の適用による学用品の給与について、言い方は「供与」ではなく「給与」でよいのか。
[教育総務課長] 表現としては「給与」である。
[高田委員] 対象となる児童、生徒は何人ほどいるのか。
[学校教育課長] 現在のところ、住家の全壊、半壊又は床上浸水の被害に遭った児童・生徒は確認されていない。大雨被害の直後においては、被害の可能性が考えられたため予算計上をしたが、幸いにも該当の児童・生徒はいなかった。

【報告事項 2 2】※非公開案件（8月24日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 報告事項 2 2 について事務局から説明を求める。
[教育総務課長外] （報告事項 2 2 について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[石動委員] 土砂崩れ発生場所のすぐ近くに、テント棟があるが、大丈夫なのか。
[学校教育課長] 現在、テント棟にテントを張って宿泊する団体の予約はないと聞いている。復旧後、危険な可能性があれば使用しない方向で進めていく。野外教育活動センター長とも協議し、安全第一で進めたいと考えている。
[教育長] テント棟は、土の上に板を張り、その板の上にテントが張れるようになっているが、あまり使用はされていない。

【報告事項 2 3】※非公開案件（8月24日時点、議案説明会開催前）

- [教育長] 報告事項 2 3 について事務局から説明を求める。
[学校施設課長外] （報告事項 2 3 について説明）
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
[各委員] 質問等なし。

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。
[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。